

くめじま

議会だより

2015.3.1

No.51



野球教室

(少年野球チームの子供達と
東北楽天イーグルスの選手)

12月定例会

視察研修報告	2
12月定例会で決まったこと	4
町政を問う 一般質問	5~13
議会のうごき、旭日単光章受賞	14

『震災』そして『復興』から学ぶもの

議員行政視察報告

宮城県・東京都行政視察

平成26年10月20日～23日



津波に流された跡の住宅

東日本大震災は、3年前にマグニチュード9.0の未曾有の大災害。私達は、3日間の日程で宮城県松島町、仙台市及び東京臨海防災センターを視察した。仙台市内の被害状況は死者914人、行方不明30人、建物被害は全壊で3万程度。被災の皆さんには、冥福を祈ると共に早期復興を願う。

松島町

松島での災害は、死者2人。津波は押し寄せたが、湾に折り重なるように位置する小島郡が緩衝となり、1m程の津波で済んだようだ。湾内の牡蠣養殖は出荷量が震災前の半分まで回復した。70

人余りいた組合員が38人に減った。震災後赤い新しい藻が発生、以前に戻るまであと3年は要するといふ。

考察…久米島での養殖事業は海洋、陸上ともに地理的に厳しいが、牡蠣の餌としての事業は、ほぼ無菌の海洋深層水で有望との意見があった。また、松島の小島郡の緩衝が湾等の



地域の避難場所となった荒浜小跡

自然再生に活用できないものか、議論を要す。

仙台市

10月22日仙台市役所にて、市震災復興室（千葉氏）から震災の概要と復興の進捗状況の説明を受ける。仙台市の防災対策、復興計画、沖縄でも起こり得る地震、津波、高潮について



仙台市役所にて説明を受けた

の意見交換。実際に市の荒浜小学校とその一帯を視察。校舎は残っていたが、津波は校舎の2階40cmの高さまで届いたという。その爪痕が残され、津波の凄まじさを体感。津波襲来時、地域の方々も含め320人が4階屋上に逃げ難を逃れた。又、荒浜海岸の何キロも続く海岸線は高さ10mの黒松・赤松等は、ところどころ

に林の影を残すのみであった。市の復興対策のハード面は、高さ7・2mのコンクリート護岸を施し、海岸防災林↓避難の丘↓海岸と平行に県道6mのかさ上げ↓海岸側の市街地の内陸への移動等の多重防御対策を進めるとの事。一方、ソフト面は健康面で問題はないが経済面で問題ある方が21%、経済

面で問題ないが健康問題ある方が6%。両方問題のある方は、課題を整理しながら個別に対応するも課題も多いという。その他、浄化

センターの損壊があったものの、大きな浄水場4カ所でも別の浄水場でバックアップ出来る態勢をとっている。

同一帯の防災林を伐採し、その中に荒浜小学校を含む街の造成となつた。↑久米島のイーフ地区を造成した歴史と類似している。

ライフラインは、昭和53年の宮城県沖地震以後、上・下水道、学校の耐震化等様々な取り組みをしたと言つ。しかし、JR駅で帰宅困難者1万1千人の発生と食料搬送の困難等都会ならではの問題も発生。防災対策は行政主導ではなく地域の顔の見える形で、避難運営マニュアルを作成したこの事。

また、盛土と造林を合わせた築山の防潮堤や海辺と人とのつながりを重視すべきと言つ市議会等での意見もあつたが、不採用になつた。

面でも問題ないが健康問題ある方が6%。両方問題のある方は、課題を整理しながら個別に対応するも課題も多いという。その他、浄化

考察：荒浜地区の海岸と防災林は、江戸時代には黒松赤松等幅1kmの防災林のグリーンベルトであつたという。

東京臨海広域 防災公園

首都圏での災害時の対応等の説明を受けた。震災後72時間

生き延びるといふ課題。地震及び現場の模擬体験をクイズを通して対応しながら進むという設定。



災害現場の模擬体験

まとめ

大規模の平野部と久米島の地理的状况は異なるが、①ライフライン等の耐震化、②防潮林の築山造成、③指揮体制の明確化と非常通報の傍受、④想定可能とするシミュレーションと訓練、⑤牡蠣養殖と深層水の利用等含めて、ボトムアップ（地域からの意見）で対策すべきだと考える。

平成26年12月（第9回）定例会は、12月17日から18日までの2日間の日程で行われました。

定例会では、議案12件、報告1件を審議し、すべて原案どおり可決しました。17日の一般質問では9人が登壇し、活発な審議が行われました。

12月定例会で 決まったこと

平成26年度補正予算 ※全員賛成

- 一般会計補正予算（第4号）
84億70万円（2億206万円増）
- 下水道事業特別会計補正予算（第2号）
3億1427万円（182万円増）
- 水道事業特別会計補正予算（第2号）

条例の改正 ※全員賛成

- 町国民健康保険条例の一部を改正する条例
健康保険法施行令の一部改正に伴い条例の一部改正
- 町社会教育委員条例の一部を改正する条例
社会教育法の一部改正に伴い条例の一部改正
- 町公民館条例の一部を改正する条例
公の施設の廃止に伴い、条例の一部改正
- 町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
人事院及び沖縄県人事委員会の給与勧告等を考慮し改定
- 町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例
町一般職の給与改定に伴い改定
- 町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
- 町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
- 町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
子ども・子育て支援法の公布に伴い条例を制定

契約 ※全員賛成

- Wi-Fi アンテナ設備導入事業の物品売買契約
 - ◎ 契約の方法 随意契約
 - ◎ 契約の金額 6320万円
 - ◎ 契約の相手 NECキャピタルソリューション株式会社
- 町水産物加工処理施設及び海業支援施設冷凍設備工事請負契約
 - ◎ 契約の方法 随意契約
 - ◎ 契約の金額 1億757万円
 - ◎ 契約の相手 ホシザキ沖縄株式会社

報告

- 平成25年度久米島町教育委員会の事務に関する点検・評価報告

議員提出 ※全員賛成

米海兵隊普天間基地所属AH-1Wヘリコプターのミサイル発射装置等、装備品落下事故に対する意見書、抗議決議書

強く要求する!!（意見書、決議書要約）

平成27年1月15日午後、普天間基地所属のAH-1Wヘリコプターが久米島東の出砂島射撃場訓練空域で訓練中、ミサイル発射装置、ミサイル格納容器及び空燃料タンクを落下させる事故が発生した。

今回の装備品落下の海域は久米島航路定期船の航路と隣接する海域にもなっている。また、同海域付近は、久米島漁業協同組合所属漁船が漁場から帰航の海域にも隣接している。一歩間違え、装備品が船舶及び船舶付近に落下した場合、大惨事になりうる重大事故である。

よって本町議会は、町民の生命、財産、安全を守る立場から、米軍及び関係当局に対し厳重に抗議する。

意見書提出先

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣
外務省特命全権大使（沖縄担当）

沖縄防衛局長 沖縄県知事 沖縄県議会議長

抗議決議書提出先

在日米軍大使 在日米軍司令官

在沖米国総領事 在日米軍沖縄地域調整官

第1回臨時会で 決まったこと

会期：平成27年1月26日

問 航空運賃の値下げ対策は

答 負担軽減の交渉を継続している



幸地 猛 議員

幸地 久米島く那覇間の航空運賃の値下げについて、これまでいろいろと要請してきたと思うが、まだ実現していない。これまでの要望に対して、国、県の考えは。また、航空会社のJTA、RACはどういう見解か。

住民については4割運賃が軽減されている。しかし郷友会や観光客等の交流人口は、割引の対象外となっている。このことが観光振興の阻害要因となっている。これまで、交流人口も運賃低減の対象にするよう要請行動を行ってきた。現在も交渉を継続している。

町長 儀間ダムの流域は農地が多くある。36種類の農薬について水質検査を実施しており、異常は確認されていない。現在

予定で

幸地 町民待望の儀間ダムが完成し、上水道の原水は確保された。儀間池、フサキナ池の上流の農地を購入して水源涵養林として整備し、安全、安心の面からより上質な水の確保に努めることが必要ではないか。山城浄水場は建設してから26年余りになるが、断水のない施設整備を実施したらどうか。

山城浄水場の整備計画について、平成27年度に町全体の整備基本計画を策定する

問 上質な水の確保と上水道の整備は

答 草地として土地利用する 町全体の基本計画を策定する

幸地 流域農地の購入計画はないが、農薬を使用しない草地としての土地利用の推進、町有地の払い下げ、賃借についても流域を考慮する必要がある。

進めている。その中で具志川浄水場、山城浄水場の整備計画を検討していきたい。



完成した儀間ダム

問 19号台風による被害、また、助成は

答 交付金、災害復旧事業で対処

平良 19号台風では農作物等に甚大な被害があつたが被害額や被害助成を伺う。

町長 農作物被害は6千百43万8千円、久米島漁協施設被害2億、エポック施設被害3千3百4万4千円、エビ流出被害1億2千2百31万2千円、南西興産施設被害1千4百24万5千円、エビ流出被害2千9百84万7千円。漁協の5号池は町の公用施設の為、災害復旧事業で補正予算を計上、2号、3号池は漁協所



平良義徳 議員

問 博物館通りの管理は

答 博物館・環境保全課で実施

平良 博物館通りの公園や歩道（街路樹の所）は頻繁に草が生い茂っているが管理体制は。

町長 歩道は博物館職員、環境保全課作業員でそれぞれ年2回、計4回、公園は環境保全課で年2回の草刈りを実施、回数を増やして対応。

有の為、水産庁の交付金事業で復旧、南西興産やエポックの民間施設の復旧は該当する補助事業が無く、公庫等から借り入れしてもらい、県漁業災害対策資金利息分の県5割、町5割の負担で支援する。

仲村渠産業振興課長 農作物は基本的に共済制度に加入し、

被害を受けた養殖池

被害を受けたら共済金で補う。特別な場合は町が単費で農薬や化学肥料を助成する。



問 県道、町道の管理は

答 優先順位を決めて修繕

平良 町一円の県道、町道の標識、カーブミラー、ガードレール、道路のセンターライン等、破損や機能していないのが見受けられるが、点検しているか。

町長 町道については、一般住民からの情報、児童・民生委員による危険箇所点検、町議会及び区長会からの指摘等があつた箇所を点検し、優先順位を決め修繕したい。

平良 ガードレールが腐食し、危険箇所は早めに直し、不用品は撤去し、修繕すべき所は直して頂きたい。

平田総務課長 県道については県の公安委員会、建設課を通じて県道路維持課へ保守点検、機能回復を行政要望している。町内道路の点検は建設課で巡回し危険箇所を把握している。

これも質問

問 町の航路運賃の軽減の進捗は

答 離島住民等交通コスト負担軽減は引き続き交渉する



玉城安雄 議員

玉城

本町の運動公

問 スポーツ合宿誘致は

答 町の活性化に向け積極的に取り組む

園は着実に整備され、さらなる有効利用の為、スポーツ合宿を誘致し町の活性化に繋げてはどうか。

町長 久米島町スポーツコンベンション推進協議会を設置し取り組んでいる。

玉城 過年度の実績と現在の状況は。

保久村環境保全課長 野球については、総勢11団体850人陸上については30人である。

玉城 各種大会の誘致についてはどのように考えるか。

町長 各種競技団体

が取り組んでいるが、効果的に行うには、関係課、関係機関の連携が必要であり、積極的に取り組む。

玉城 那覇地区中体連駅伝大会は、毎年久米島での開催は可能か。

教育長 予算面や、授業日数など厳しい面もあるが、開催に向け要請していく。

問 病児、病後児保育の実施は

答 公立病院と協議し検討する

問 特定不妊治療費助成は

答 県の制度に沿って支援する

玉城 特定不妊治療費助成金交付事業についての現状はどうなっているか。

町長 県の助成の差額の補填として、15万円を限度とし助成

している。25年度は1件の交付である。

玉城 県の助成の内容は、多額の費用が掛かっても上限15万円か。

田端福祉課長 子供

を望む夫婦負担軽減のため健康保険適用外である不妊治療に助成する制度である。現在の制度では15万円が上限である。

玉城 前議会では、専門職の配置など課題があり実施は不可とあるが、現状は。

町長 実施要件に看護師の配置があることから厳しい状況であるが、公立病院の協力があれば可能性はある。今後病院側と協議しながら検討する。

玉城 病院側と協議したことがあるか、その内容は。

田端福祉課長 病院側でリハビリ施設の増築の計画がある、現在使用している施設を利用できないか協議しながら進めていく。

玉城 核家族が進み、子供が病気の時の保

育が重要な課題である。町長の考えは。
町長 問題をクリアしながら前向きに検討して行く。

問 高速船導入の進捗状況は



棚原哲也 議員

答 導入推進に向けて調整を図る

棚原 高速船の早期導入に努めると6月の定例会で答弁しているが。

町長 既存航路事業者は古い船舶の引退時期を延長したい意向があるため調整に時間を要している。古い船舶の更新時期を早めに決定していただくよう働きかけていく。

棚原 町長の任期中に高速船を導入するという意気込みを伺いたい。

町長 公約の中でも高速船導入について

は掲げており、積極的に推進に向けて調整を図っていききたい。
棚原 久米商船を加えた検討委員会の立ち上げは可能か。年3回の検討委員会の開催が実施でき、3回の委員会で必須事項のまとめができるかと考えるか。

中村プロジェクト推進室長 検討会へ久米商船の桃原社長も参加していただけになった。町長の公約にもあるように、高速大量輸送手段、観光入域の増につなげるためにも必要ということは、事業者にも常々申し上げている。27年度も含めて会議を重ねていきたいと考えている。

問 仲原家の利活用は

答 未来を担う人材育成の拠点

棚原 寺子屋とか学習塾としての利活用の意見等はでなかったのか。

中村プロジェクト推進室長 久米島の未来を担う人材育成を考える拠点として活動したい。

寺子屋という表現があったが、そういった形にもなっていくかと思う。



高速船の早期導入を

これも質問

問 町の機構改革について他の課も含め、変更の考えがあるか
答 新年度に向け機構改革検討委員会を設置し検討している

問 車海老養殖場の復旧は
答 今年度の災害復旧事業で復旧する予定で補正予算に計上



宇江原総清 議員

問 鳥島射爆撃場 子供達の遺伝子検査

答 国への要請はしない

宇江原 町長は子供の遺伝子検査の国への要請はしないとされている。理由は、久米島町のガン死亡率は県下37位としている。しかし沖繩本島でも放射性物質や発ガン性の高いダイオキシンを含む枯葉剤等が散布、投棄された。ビキニ環礁での水爆実験、宜野座村での原子砲の打ち込み等々で環境汚染されている。鳥島射爆撃場に1千5百発余りが、撃ち込まれた

際も研究者が高濃度の放射性物質が検出されたと発表。子供達5人の小児ガンが発症しているのに、町長は危機管理能力はない、と見る。
町長 より多くの皆さんの意見を拝聴して行政運営していきたい。

問 コンクリ護岸の撤去を

答 塩害がコンクリ護岸によるものか明確でない

宇江原 今年も台風18・19号の襲来で、台風被害、取分け塩害は甚大だ。さとうきび等農作物の塩害、工ビ養殖場の越波等は、原因としてコンクリ護岸にある。①台風がもたらした塩害と越波の実態、②災害対策基本法に基づく基金とその活用は。
町長 ①塩害と越波被害は把握している。台風の際の塩害が、コンクリート護岸によるものなのかは明確でないため、コメントを控えたい。②基金は基本法第百一条に規定しているが、基金創設の市町村は少ない。

宇江原 コンクリート護岸からの潮の吹き上げ、飛散の証拠写真を見せても理解

しようとしめない。町民の感覚と乖離している。久米島製糖が作成した台風19号のサトウキビ畑の台風前と後の比較写真を参考にされたい。

問 天后宮改修の進捗は

答 事業計画は進んでいる

宇江原 天后宮の対聯案件は、これに先立って天后宮の改修を急ぐべきと思う。私の考えは、仏をつくって魂を入れる事。天后宮改修の県との進捗状況は。
上里教育課長 平成27年度で県への事業計画報告書を提出。平成28年度で天后宮保存修理事業、保存修理工事の実施設計及び詳細調査。平成29年度に修理工事の

開始。平成30年度に石碑工事設計監理、石碑復元工事をやる予定で事業は進んでいる。



改修事業が進む天后宮

問 特別支援教育支援員の配置を



仲村昌慧 議員

答 適正配置を検討する

仲村 学力は小学校でのつまづきが、中学校へ入学する時には取り返すことが出来ないくらい遅れになる。学習支援を充実させることによって、初歩的な学習のつまづきを回避し、学力が向上するものと考えられる。特別支援教育支援員の適正な配置ができないか。

教育長 特別支援教育支援員の配置については、特別な教育

的支援を要する子に対して、学校生活が円滑に行えるよう、生活支援、学習支援、安全確保等のサポートを目的に配置している。配置の基準は、町の就学指導委員会で支援員が必要と判定された児童生徒を対象に、学校の申請を基に配置しているが、学校によっては要請に充分応えられない現状である。

仲村 現状だけが述べられ、適正な配置ができないかという質問に答えていないが。

教育長 特別支援を要する児童が今後増えつつある。適正な配置ができるか検討したい。

問 義務教育の無償化とは

答 事務方で検討する

仲村 町長は、少子化に歯止めをかける施策として、義務教育にかかる費用の無償化を公約に掲げているが、義務教育に係る費用とは具体的にどういうものか。

町長 内容については、事務方で検討する。本町の教育環境を精査し、何が効果的か、何が最優先で取り組むべき事項かを整理した上で進めたい。

仲村 答弁で学校給食を無償化すると答えているが、いつから実施するのか。

町長 私の任期期間に少しでも改善できるように取り組んでいきたい。

問 世界の久米島ンチュ大会の開催を

答 大会本部と調整したい

仲村 5年毎に行われる世界のウチナーンチュ大会が2016年第6回大会が開催される。この機会に世界の久米島ンチュ大会を開催できたい。

町長 第6回に向けて久米島町にて開催できるか、大会本部と調整したい。

仲村 早い時期に計画を立てれば可能ではないか。

町長 今回早い時期にやる前提で進めれば参加者もその日程等を考慮すると思う。



翁長 学議員

問 農業担い手の支援は

答 支援に取り組む

翁長 農業の高齢化が進んでおり、町として、担い手に対してどのような支援をしているか。

町長 現在、町には担い手の数が（認定農業）39人で担い手に対しての支援策は、各種助成金の支給、経営相談、技術指導、制度資金の拡充、農地の面的集積促進、農業用機械、施設等の導入支援等。

翁長 農業認定を取れないと補助関係が受けにくい。

仲村渠産業振興課長

認定の事務がスムーズにいくように、県の普及員と連携して取り組んでいく。

翁長 これから計画されている事業は。

町長 畜産基盤総合整備事業（県）、沖縄県農業生産経営対策事業、青年就農給付支給事業、新規就農一貫支援事業、農地管理中間事業等。

翁長 このように担い手に対しては厚く保護された支援事業が沢山ある。町、県、国等の事業を活用し、農業に元気をつけて頂きたい。現在、産業振興課が農林水産商工観光が一つの課で業務をしている。課の編成は考えていないか。

町長 精査しながらしっかりと課の編成をやっていききたい。

問 町営住宅の応募に関して

答 年度途中で応募する

翁長 宇江城に2ヶ所の町営住宅がある。住民の方々から空いているのに何故、入居しないかと聞かれた。

平田総務課長 公募を年度当初にかけるが、6人いて、2人が別の住宅に入居され、4人の中から宇江城の方を紹介し希望と違うという事で辞退。年度途中で応募をかけ入居した。

翁長 年度途中で、応募をかけ入居は可能か。

平田総務課長 辞退する場合、再入居募集をかける。



町営住宅（宇江城）

問 真謝部落の農道整備を

答 道路認定後、整備計画を策定したい



安村達明 議員

安村 満堂原には、農地やお墓が沢山あり、道路が崩れ、やむなく移転した墓もあると聞いている。高齢者の方々は、農業を放棄し、草刈りや掃除（お墓）にも大変苦慮しているようである。その方々の安心安全のためにも、満堂原の整備は不可欠だと思いが町の道路整備の計画を伺う。

町長 満堂原は、道路認定が無いので認定後、整備計画を策定したいと思う。



大田建設課長 この道路は道路では無く、約40筆の地権者がいて、公道上道路としての性質ではなく、整備をするにしても100%の地権者の同意が必要で、その数字は厳しいと、農林サイドの農道整備では無理なので、一般の町道に認定しての整備方法になるが新年度に財政と相談して実施したい。

安村 以前、真謝のクシ原舗装について質問したが、予算の都合で時期を見て検討するとの答弁だったが、現状について伺う。

町長 クシ原は農道ではなく、町道真謝2号線となっており、現在、整備計画はないが、県道路整備課と事業計画を調整したい。

安村 以前から高速船や飛行機の話もあるが、やはり高齢者の方々の安心安全な生活を確保してあげられるためにも、道路整備は不可欠だと思う

問 真謝クシ原の舗装は

答 事業計画を調整したい

安村 以前、真謝のクシ原舗装について質問したが、予算の都合で時期を見て検討するとの答弁だったが、現状について伺う。

町長 各字、未整備道路はあるが採択要件がある以上、事業のヒアリングの中で

どう説明できるか、課題もあるが建設課長に頑張ってもらい、採択できるよう前向きに進めたい。



舗装の要望がある真謝クシ原

問 公約の教育の再生とは

答 更なる教育の充実を図る



山里昌輝 議員

山里 選挙公約の教育の再生とは何か。

町長 教育の再生は、次の3点を考えている。(1)義務教育の無償化、主に学校教育、(2)町単独の奨学資金による格差是正、グローバルな人材育成、(3)図書館、町営塾の開設による学力、進学向上。

町長 児童の減少、教育に金がかかる等、

諸々の件を含め再生と云う言葉を使っている。今後は横の連携を深めていきたい。
山里 教育長は就任冒頭、幼児教育に力を注いでいくとのことだったが、今後の計画は。

教育長 本町の教育課題の一つに学力向上を挙げているが、

全国平均に着実に近づきつつあり、就学前児童教育の充実を図っていくことが、更なる学力向上につながるかと考えている。そのためにも園児数の格差から生ずる保育内容の差を解消するため、幼稚園の統合について推進して行く。

山里 学校教育の原点を考えた場合、家

庭の環境もさることながら、学校現場での対応、いわゆる地域、学校の連帯意識は今のままで十分と認識しているのか。

教育長 保護者、家庭、できれば地域も含めた連携で教育活動を進めた方が、より効果が上がると思っている。

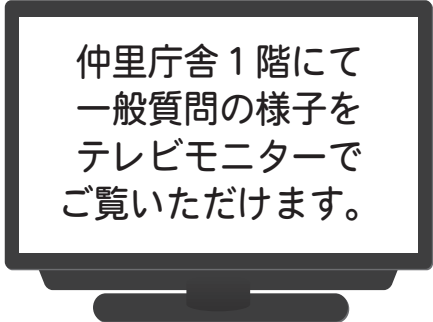
山里 一昔前、朝の便が欠航で自習に変わった事例もあった。軸足を久米島に置かないまま就任している教員が少なからずいると思うがどうか。

教育長 私も過去にいたということは聞いていますが、どの学校でも研修を深めており、今はそのようなことはないと思っている。

議会の傍聴へ行こう

次回定例会は
3月10日(火) 開会予定

傍聴は議会の活動や町制の動きを知るチャンスです。本会議では、町民生活に関わるさまざまな決まりごとや問題について、審議が行われています。また、一般質問では、町長の考えを聞くことができます。今、まちづくりがどのように行われているのか、町民、議会、役場(執行部)みんなで情報を共有し、協力してより良いまちづくりを進めていくためにも、ぜひ傍聴にお越しください。



仲里庁舎1階にて
一般質問の様子を
テレビモニターで
ご覧いただけます。

■ 平成26年11月 ■

- 1日・那覇地区中学校駅伝久米島大会歓迎に議長出席
- 4日・県共進会出発式に議長出席
- 6日・町村議会広報研修会に議員出席
- 10日・南部地区市町村議会議長会臨時総会に議長出席
- 11日・離島振興町村議会議長全国大会に議長出席
- 広報委員会
- 12日・町村議会議長会全国大会、県出身国会議員懇談会に議長出席
- 14日・南部地区市町村議長会行政視察に議長出席
・後期高齢者医療保険広域連合会11月議会臨時会に議員出席
- 20日・町村議会事務局職員研修会意見交換会に議長出席
- 25日・介護広域保険広域連合議会臨時会に議員出席

■ 平成26年12月 ■

- 1日●議会運営委員会
●議員全員協議会
●第8回臨時会
- 4日・JA久米島支店組合員交流の集いに議長出席
- 5日・うまんちゅ交流会に議長ほか議員出席
- 7日・久米モビ祭りに議長ほか議員出席
・比屋定小120周年記念式典、祝賀会に議長ほか議員出席
- 12日●議会運営委員会
- 14日・久米島産業まつりに議長ほか議員出席

- 16日・楽天久米島協力会評議委員会に議長ほか議員出席
- 17日●12月定例会
- 18日●12月定例会
●広報委員会
- 19日・和牛改良組合忘年会に議長出席
- 25日・町老人クラブ連合会忘年会に議長出席

■ 平成27年1月 ■

- 4日・野菜、花卉合同初荷式に議長ほか出席
- 5日・町新年会に議長ほか出席
- 7日・消防出初め式に議長ほか出席
- 8日・南部地区市町村議会議長会定例総会に議長出席
・南部地区関係団体合同新年懇親会並びに南部振興会表彰式、祝賀会に議長出席
- 11日・町成人式に議長ほか出席
- 14日・本間カップパークゴルフ大会懇親会に副議長出席
- 18日・久米島家畜セリ市場初セリに議長出席
- 21日・久米島製糖操業開始式に議長出席
- 22日・県後期高齢者医療保険広域連合会議員全員協議会に議員出席
●議員全員協議会
- 26日●議会運営委員会
●第1回臨時会
- 31日・町新春書道展オープニングセレモニー、表彰式に議長出席
・東北楽天イーグルス歓迎セレモニーに議長ほか出席

旭日単光章受章

上原仁栄さん おめでとうございます

地方自治功労者に対し授与される高齢者叙勲で、上原仁栄さん(字真謝)が旭日単光章を受章されました。1月30日県庁で叙勲伝達式が行われ、勲記と勲章を授与されました。

上原さんは昭和29年9月に仲里村(現久米島町)議会議員として初当選して以来、6期24年の永きにわたり議会活動に精励され、また、美崎小学校PTA会長、区長、美崎土地改良組合理事(昭和48年〜平成10年)を歴任し、地域産業の振興発展、教育、文化、福祉の推進に尽力されました。

伝達式には、家族と共に参加され「大変感動しました。」と受章を喜んでいました。
この度の輝かしい受章に心からお祝い申し上げます。



受章された上原さん(右から2番目)

編集後記

平成26年が終わり、計画通りに1年を過ごすことが出来ましたでしょうか。

1年の計は元旦にありと言われていますが、改たな年を迎えるにあたり夢や希望をもって、1年の計画を立てて下さい。

議会だよりが届く頃には、3月になっていきますが今からでも遅くはありませんので、1年の計画をしつかり立て、後悔のないように。(翁長)

広報委員

- 仲村 昌 慧
- 崎村 正 明
- 翁長 学
- 宇江原 総 清
- 饒平名 智 弘